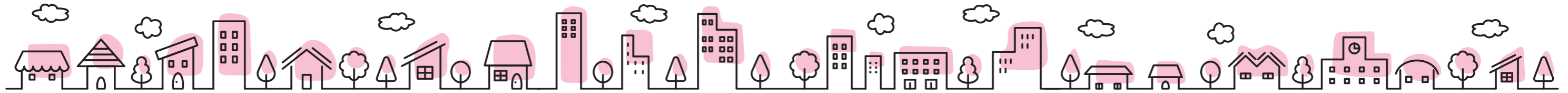


令和6年度 予算案の概要

今号では、令和6年市議会第1回定例会に提案している令和6年度予算案の概要を紹介します。

☎市役所財政課財政係 ☎(260)5324 ☎(261)4592



予算編成の基本的な考え方

令和6年度予算は、市税など歳入の大きな伸びが期待しにくい一方で、歳出において義務的経費が大きく増加する難しい編成となりました。そうした中であっても、福祉や子育ての分野、市民の安心・安全に関わる分野などを重視しつつ、事業費の精査を徹底し、真に必要な経費を確実に計上しています。

主な事業は、やまとニュース第133号(4月15日発行)で紹介する予定です。

表とグラフで見る令和6年度 予算案の概要

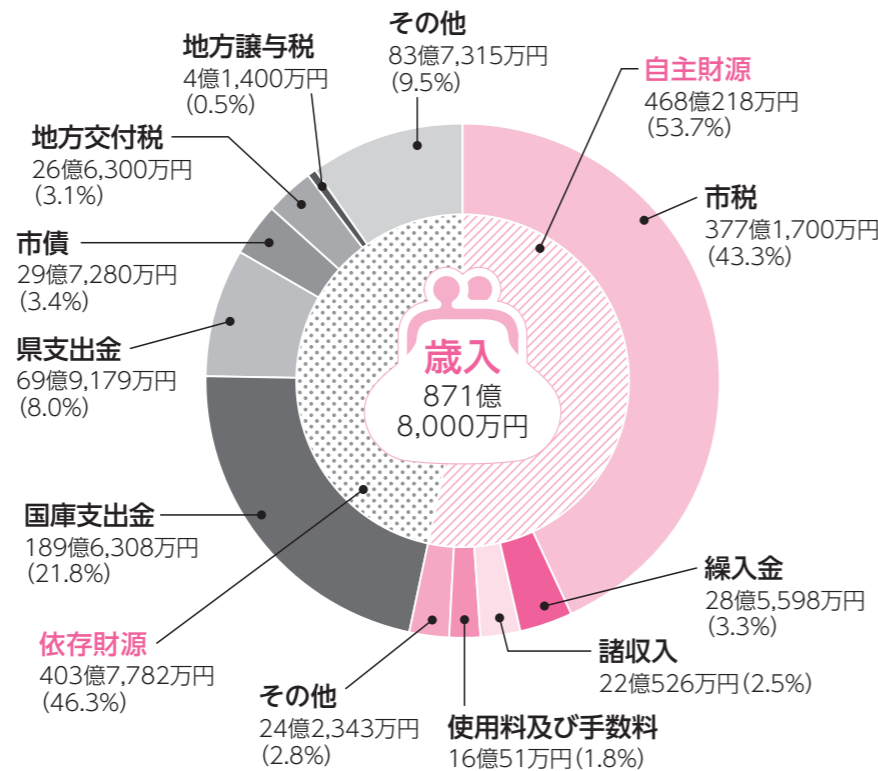
令和6年度の予算案の規模は、一般会計871億8,000万円で、令和5年度と比べ22億円(2.6%)増を見込みます。

※以下の数値は端数処理などを行っているため、実際の数値と若干の違いが生じる場合があります。

一般会計 歳入

自主財源の中心を占める市税は、令和5年度と比べ4億6,000万円の減を見込み、自主財源全体としては3億715万円の増を見込んでいます。市税の減少は、国が経済対策として実施する定額減税によるものであり、個人市民税への影響は9億8,300万円減収となりますが、減収分は全額、国から補てんされます。

市税のうち、個人市民税は4.1% (6億9,140万円)の減、固定資産税は家屋分の増収などが見込まれることから1.0% (1億5,090万円)の増を見込んでいます。

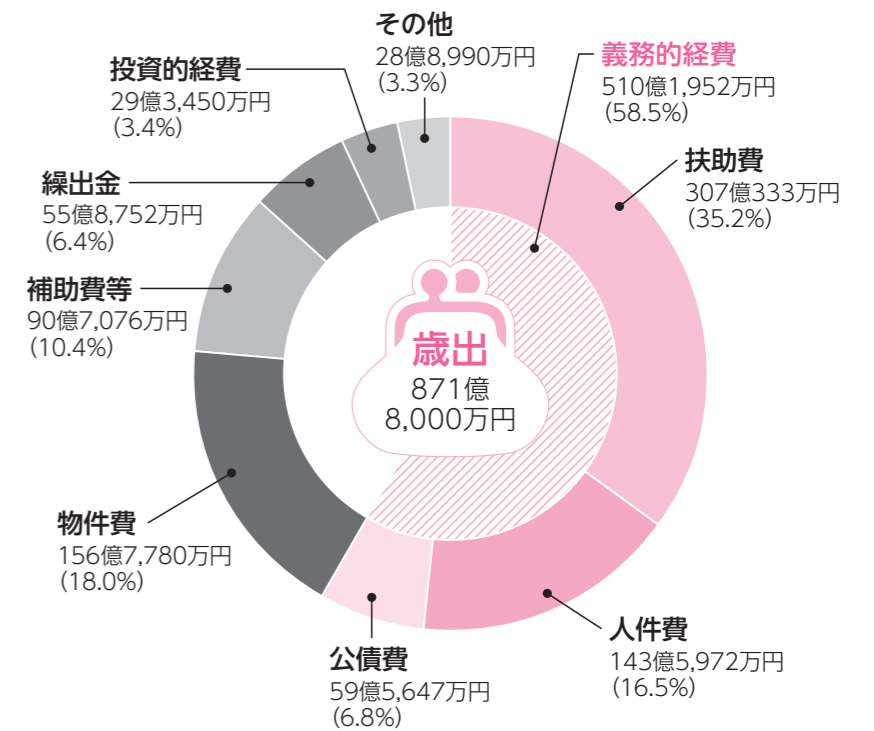


一般会計 歳出

歳出を性質別にみると、義務的経費(扶助費、人件費、公債費)が令和5年度と比べ32億2,225万円増加し、歳出全体に占める割合は58.5%になると見込んでいます。

特に扶助費については、保育所等施設型給付費の伸びや、児童手当制度の拡充などにより、5年度と比べ8.1% (23億1,016万円)の増、公債費については、0.4% (2,431万円)の増を見込んでいます。

また、投資的経費(建設事業)は、環境管理センター焼却炉延命化工事の完了などに伴い、5年度と比べ34% (15億1,360万円)の減を見込んでいます。



項目	令和6年度	令和5年度	増減
自主財源	468億 218万円	464億9,503万円	3億 715万円 (5年度比 0.7%) 増
市税	377億1,700万円	381億7,700万円	4億6,000万円 (5年度比 △1.2%) 減
個人市民税	163億1,480万円	170億 620万円	6億9,140万円 (5年度比 △4.1%) 減
法人市民税	16億1,770万円	16億4,350万円	2,580万円 (5年度比 △1.6%) 減

項目	令和6年度	令和5年度	増減
義務的経費	510億1,952万円	477億9,727万円	32億2,225万円 (5年度比 6.7%) 増
扶助費	307億 333万円	283億9,317万円	23億1,016万円 (5年度比 8.1%) 増
人件費	143億5,972万円	134億7,194万円	8億8,778万円 (5年度比 6.6%) 増
公債費	59億5,647万円	59億3,216万円	2,431万円 (5年度比 0.4%) 増